

2009年度

科目名	日本文学講読IV				
担当教員	高橋 圭一				
配当	日文1(2112)			コード	12160
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	西鶴つまみ食い。				
目的と概要	近世文学きってのストーリー・テラー井原西鶴の作品を味わう。西鶴の生涯と彼が生きた時代を概観したのち、四乃至五編を細かな語釈を施しつつ熟読する。				
成績評価法	学期末の試験(論述式)に平常点を加味する。				
テキスト	プリントを配布する。				
参考書	講義中に随時紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	西鶴の文章は決して易しくない。現代語訳はあてにならない。前期と後期とでは読む作品に一部入れ替えがある。				
講義計画					
第1回 西鶴の生涯、代表作品など。 第2回 続き。 第3回 続き。代表作品解題。 第4回『好色一代男』巻一の一「けた所が恋はじめ」。光源氏は文始め、世之介は恋始め。 第5回 続き。 第6回『万の文反故』巻二の三「京にも思ふやう成事なし」。結婚狂想曲。 第7回 続き。 第8回『武道伝来記』巻三の一「人差指が三百石が物」。天晴れ若衆。 第9回 続き。 第10回『西鶴諸国ばなし』巻一の三「大晦日はあはぬ算用」。清貧な武士たち。 第11回 続き。 第12回『本朝二十不孝』巻一の一「今の都も世は借物」。恐ろしい借金「死一倍」とは？ 第13回 続き。 第14回『日本永代蔵』巻一の一「二代目に破る扇の風」。金を貯めるは難し、使うは易し。 第15回 続き。					